

ベトナムワークショップ報告会

前橋工科大学大学院修士課程前期 1 年

Group 4 飯田紗己

敷地の調査・分析

- ・交通量の多さ・交通と歩道の混在



歩道に停められているバイク



路上駐車、信号のない横断歩道

敷地の調査・分析

- ・ハン市場の伝統性



ハン川から見るハン市場



市場の様子

エスキス



コンセプトの決定

■ コミュニティ性

→人々の集える公園のような場所にする

■ 水と緑を活かす

→水と緑を多く取り入れる

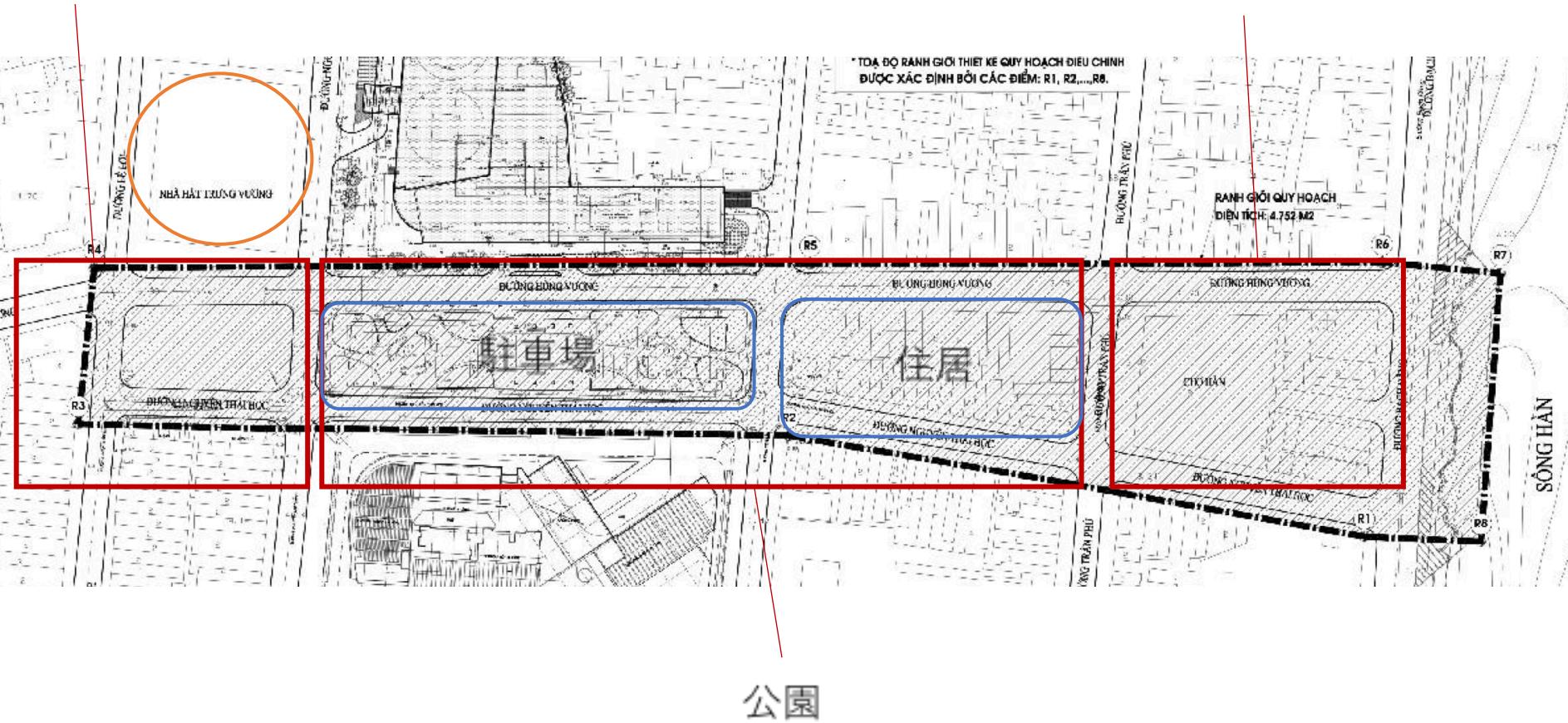
■ 歩車分離 「歩く」を大切にする

→敷地全体を持ち上げる

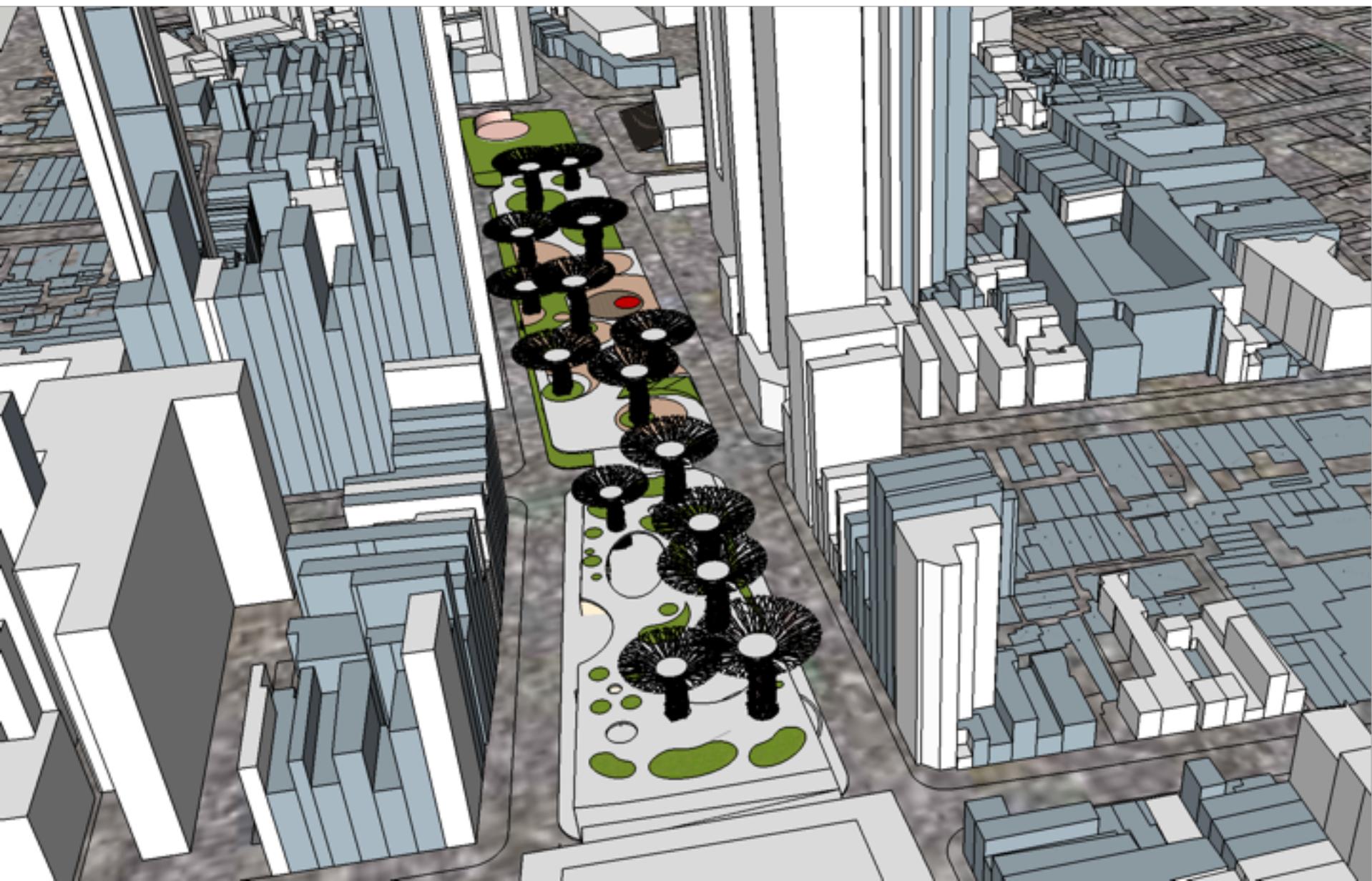
ゾーニング

音楽ホールと関連づけたステージ広場

ハン市場を残す



エスキス



模型・パネルの制作



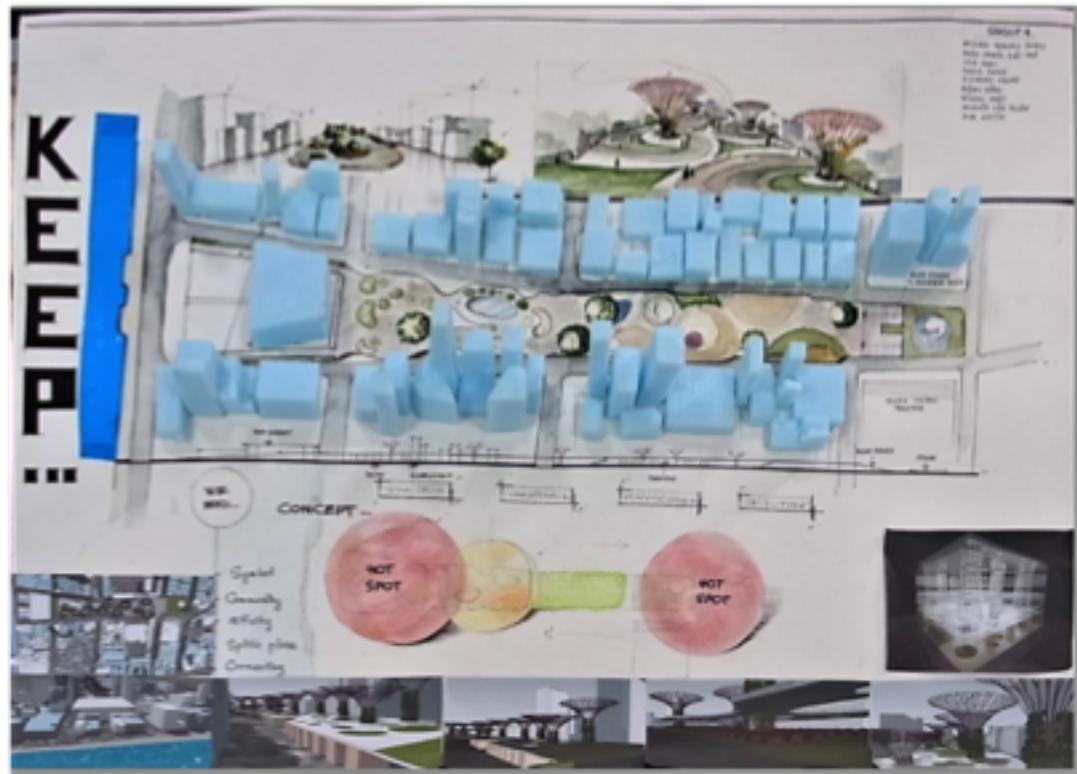
作業の様子

最終発表



最終発表

- 1.街のシンボル
- 2.コミュニティ
- 3.アクティビティ
- 4.歴史・文化の継承
- 5.連続性



Group4パネル

1. 街のシンボル



模型全景 S=1/500

2. コミュニティスペース

- ・地盤面から敷地全体を持ち上げることによって、歩車分離を図り、安心して落ち着いて集える場にする
- ・音楽ホールと関連づけたステージのある広場でコミュニティが広がる



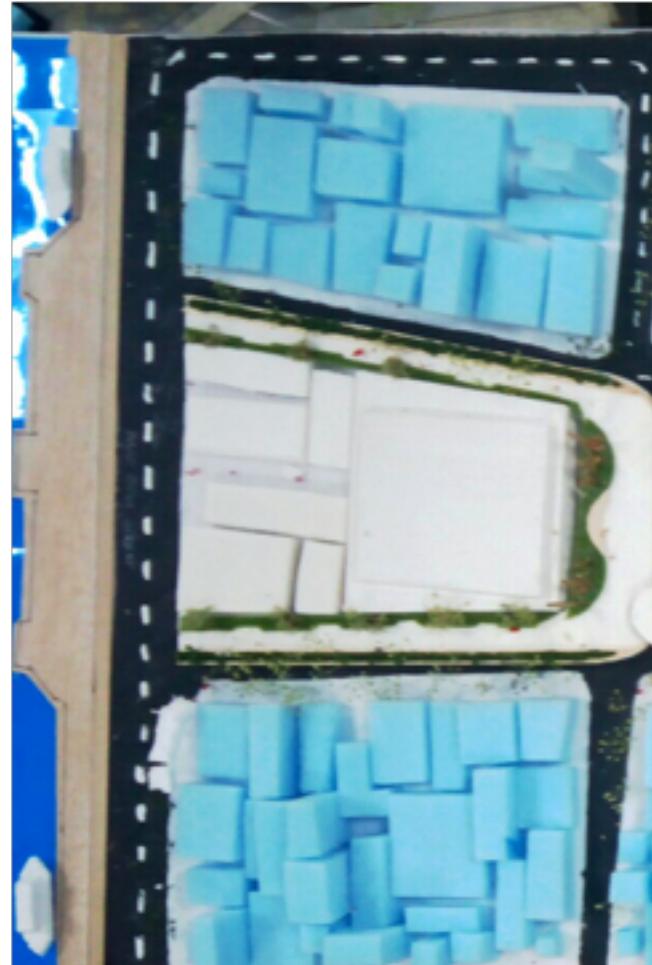
3. アクティビティ

- ・公園に空いたポイドを使ってランニングや散歩の動きを促す



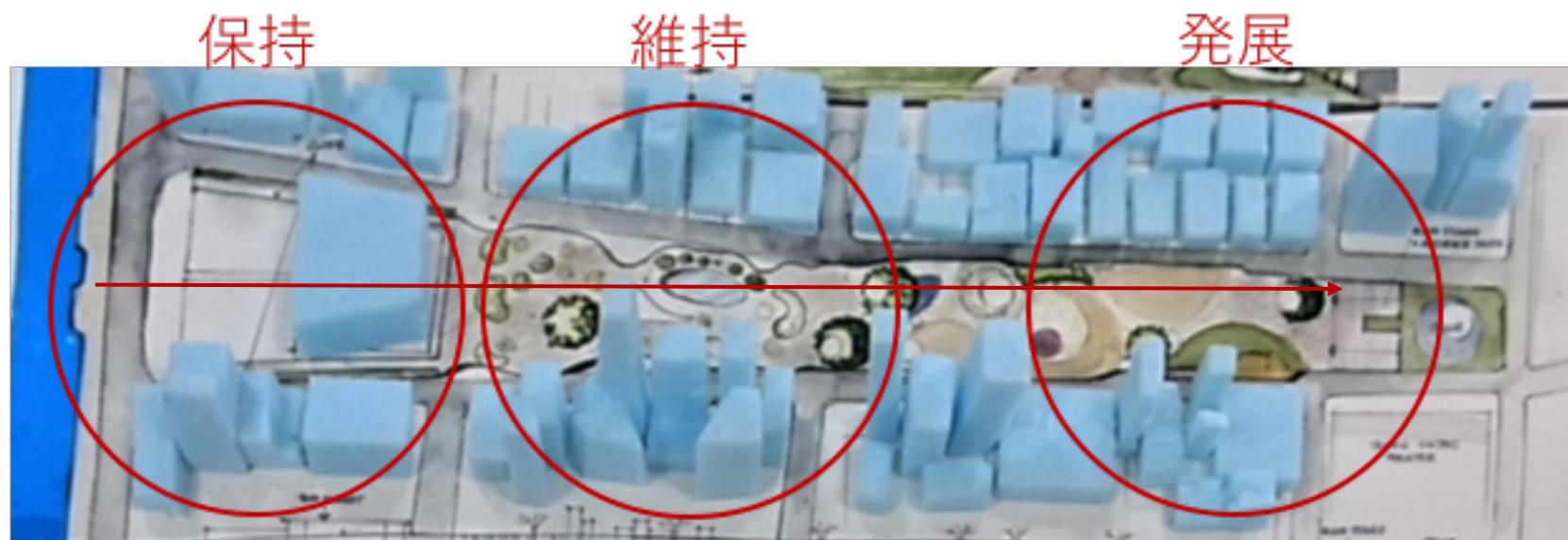
4. 文化・歴史の継承

- ・ハン市場だけでなく、
小さな市場・住居も含んで残すことで
ハン川からの景観を残す



5. 連続性

- ・ハン市場の伝統を**保持する**エリアから
住居を改修して伝統を**維持する**エリア、
駐車場・ステージ＝**街の発展**に伴う新たなエリアへ
歴史の流れを繋ぐ



まとめ

- ・言葉の壁は大きかったが、いい建築・空間を作りたいという思いは同じで、お互いの良いところを活かして取り組めた。
- ・ハン市場はそのまま残したいなど、その土地に住んでいなければわからない感じ方、文化の違いを感じることができた。
- ・短い時間ながらも国をまたいで一緒に取り組むことで、見習うべきところや自分たちの良さを見つけ、これから糧となる経験となった。

